



後援会だより

発行日：2019（令和元年）.9.20
編集：大阪経済大学後援会事務局
〒533-8533
大阪市東淀川区大隅2-2-8
Tel.06-6328-2431 Fax.06-6320-3930
<http://www.osaka-ue.ac.jp/profile/kouenkai/>
Mail : kouenkai@osaka-ue.ac.jp

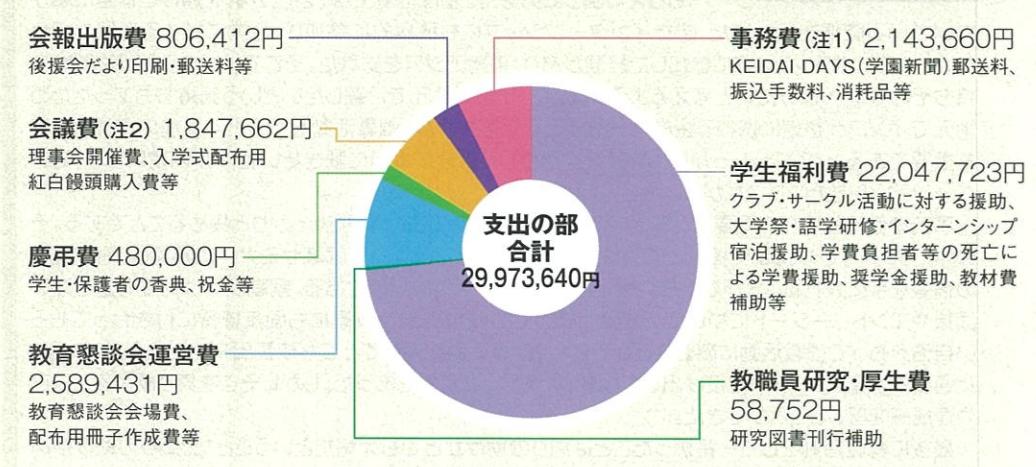
2018年度収支決算書 (単位：円)			2019年度収支予算書 (単位：円)		
I 収入の部	予算額	決算額	I 収入の部	予算額	
1.後援会費収入	29,628,000	29,352,000	1.後援会費収入	28,572,000	
2.受取利息	70,000	59,704	2.受取利息	45,000	
3.雑収入	0	16,220	3.雑収入	0	
4.前年度繰越金	31,832,448	31,832,448	4.前年度繰越金	31,286,732	
収入の部 合計	61,530,448	61,260,372	収入の部 合計	59,903,732	
II 支出の部	予算額	決算額	II 支出の部	予算額	
1.学生福利費			1.学生福利費		
(イ)運動部活動援助費	6,100,000	4,766,610	(イ)運動部活動援助費	6,200,000	
(ロ)文化部活動援助費	2,800,000	1,465,400	(ロ)文化部活動援助費	2,700,000	
(ハ)学生行事費	3,650,000	2,257,336	(ハ)学生行事費	2,850,000	
(二)学生研修費	6,700,000	5,846,063	(二)学生研修費	7,350,000	
(ホ)備品購入補助	2,500,000	1,262,494	(ホ)備品購入補助	1,400,000	
(ヘ)図書購入補助	550,000	299,820	(ヘ)図書購入補助	250,000	
(ト)学生給費補助	6,150,000	6,150,000	(ト)学生給費補助	6,450,000	
小計	28,450,000	22,047,723	小計	27,200,000	
2.教職員研究・厚生費			2.教職員研究・厚生費		
(イ)研究図書刊行費	300,000	58,752	(イ)研究図書刊行費	200,000	
(ロ)教職員海外研究費	0	0	(ロ)教職員海外研究費	0	
(ハ)海外留学補助	0	0	(ハ)海外留学補助	0	
小計	300,000	58,752	小計	200,000	
3.教育懇談会運営費	3,800,000	2,589,431	3.教育懇談会運営費	3,000,000	
4.慶弔費	600,000	480,000	4.慶弔費	600,000	
5.会議費(注2)	1,800,000	1,847,662	5.会議費	1,700,000	
6.会報出版費	900,000	806,412	6.会報出版費	900,000	
7.事務費(注1)	2,630,000	2,143,660	7.事務費	2,300,000	
8.前期末前払金	0	0	8.前期末前払金	0	
9.前払金	0	0	9.前払金	0	
10.予備費(注2)	2,000,000		10.予備費	2,000,000	
合計(1~10)	40,480,000	29,973,640	合計(1~10)	37,900,000	
次年度繰越金	21,050,448	31,286,732	次年度繰越金	22,003,732	
支出の部 合計	61,530,448	61,260,372	支出の部 合計	59,903,732	

(注1)事務費のうち、通信費は1,320,508円、印刷費は343,051円、消耗品費は288,833円、支払手数料は191,268円を計上している。

支払手数料は191,268円を計上している。

(注2)予備費のうち、会議費に50,000円を振り替えている。

2018年度 支出経費内容



後援会とは

後援会とは、在学生の保護者と大学の教職員からなる組織で、学生の課外活動への支援と大学の教育・研究の発展に寄与することを目的としています。主な活動内容としては、①学生の課外活動の援助、②学費負担者にご不運があった学生に対する学費・教材費援助、③教育懇談会の開催、④後援会だよりの発行、⑤教職員の研究の援助、⑥その他教学振興に必要な事業の支援を行っています。

尚、後援会事務局は、大学の総務部総務課（J館2階）内に置いています。

事務局からのお知らせ

学費負担者にご不幸があった際の援助について

ご不幸にも学費負担者がお亡くなりになられた学生に対して、僅かではございますが、後援会より学費援助させて頂いております。お問合せ、手続き等に関しましては、学生部窓口（J館1階）でご確認ください。

災害見舞金について

後援会では、地震や台風、集中豪雨をはじめ自然災害で被害に遭われた在学生・保護者の方に対して僅かながら支援措置を講じております。詳細は学生部窓口（J館1階）までご相談ください。

2019年度

秋学期の行事予定

9月 3日(火)	春学期成績発表
9月17日(火)~19日(木)	履修登録
9月20日(金)	春学期卒業式
9月21日(土)	講義開始
11月 2日(土)~4日(月)	大樟祭・経大祭
12月24日(火)~1月4日(土)	冬季休暇
1月28日(火)	秋学期講義終了
1月29日(水)~2月10日(月)	期末試験
3月14日(土)	卒業式

また、藤本理事長より、本学の取り組みについて、山本学長より、本学の教育についてお話をありました。その後、岸田進路支援部長より、後援会からの学生サポートに対する総括および就職状況について、大塚図書館・研究所事務課長よりセミナーに関する案内がありました。

※2018年度の役員の皆様、ご協力ありがとうございました。今後とも大阪経済大学へのご支援のほど、よろしくお願ひいたします。2019年度役員の皆様、ご多用かとは存じますが、引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。



第32回 教育懇談会

大学と後援会が一丸となって実施している教育懇談会は、今年で32回を数えることとなりました。

今年度は大阪(本学)、懇談WEEK(本学)、高松、岡山会場を合わせて、669名の保護者様にご参加頂きました。

大阪会場では、本学マスコットキャラクター・はてにゃん。とマンドリンクラブによるオープニング演奏の後、山本学長による本学の教育に関する講演に始まり、学生の声をお届けする学生体験談、参加者の関心が高い就職シンポジウム・パネルディスカッションが行われたほか、成績・就職・留学・学生生活における各種個人面談、学生広報隊による施設見学など、様々なプログラムが行われました。その他の会場においても、全体懇談や成績・就職の個人懇談が実施されました。

本誌では、各会場の参加実績等の他、高松、岡山会場における学生就職体験談について、お知らせ致します。



山本新学長による挨拶・講演

大阪会場の全体懇談(D館)では、4月に徳永前学長からバトンを引き継いだ、44歳の山本新学長による挨拶・講演を行われました。本学が2032年に創立100周年を迎えるにあたり、本学の沿革や建学の精神である「自由と融和」、教学の理念である「人間的実学」を踏まえ、大学全体から新しいものが湧き出るような大学を目指すという本学の教育ビジョン、「100周年ビジョン」の確立について語られました。

自身の生い立ちや学生時代の経験談を交えつつも、「自分の考えをもって社会の中で生きていける方法、学び方を学ぶ場所が大学としてあるべき姿である」という学長としての自身の意思を明確に示したことで、会場の保護者の方からもエールをいただきました。全体懇談は盛況のうちに終了しました。

※今年も多くの保護者の皆様にご来場いただき、教職員一同、心より御礼申し上げます。これからも大阪経済大学はより一層教育の発展・充実に努めてまいりますので、引き続きご支援賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

教育懇談会参加人数			
開催日	会場	参加者数	
6月22日(土)	大阪	大阪経済大学	541
6月24日(月)~6月28日(金)	懇談WEEK	大阪経済大学	43
7月13日(土)	高松	JRホテルクレメント高松	48
7月14日(日)	岡山	岡山プラザホテル	37
合計		669	

高松会場



経済学部4年 武内 弘成 さん

学生生活は大学進学を機に大阪で一人暮らしをしており、実際に炊事・家事・洗濯・掃除といった事をすることで親の大変さを経験し親の有難さを感じることが出来た。大学でクラブ活動はしなかったが、アルバイトや学校外でのボランティア活動などを通して沢山の人達と関わって充実した学生生活を送っている。様々な人が集まる場所だからこそできる経験もあり、コミュニケーション能力を磨くことができ、就活において大変役に立ったと振り返った。

学業面では、山本俊一郎ゼミに所属し大阪市内の企業とコラボして商品提案を行い、大学周辺地域のイベントにボランティアとして参加し、地域を盛り上げる活動に取り組んできた。

就職活動は12月に入ってから始め、履歴書に記入する自己PR文の作成、自己分析を行った。困ったこと迷ったときは積極的に就職課に行き、就職活動に対する不安を解消した。1月から2月までは学内合同説明会へ参加し、会社のHPや就職課の資料室を活用し企業研究を行い、自身の興味がある業界や職種を絞り込んだ。3月が近づくと就職課が混み合ってくるため早いうちから訪問、自己分析などを済ましておくことで就活をスムーズに行えるため重要であると勧めた。

就職活動において苦労したのは自身のしたい事がなかったという点である。就職課を活用し相談に乗ってもらえたことで自分のしたい事が見つかり、「災害から人命・国土・資産を守ることに貢献できる仕事」という軸を見出し、就職活動を行った。また就職活動中、地元就職か県外で就職するか迷い、地元外で就職したいという思いが強かったため、県外での企業選びを行った。地方出身者は早い段階で地元就職か地元以外で就職するのか考えておくことで就職活動における障害を無くすことができると述べた。

最後に、大阪で一人暮らしをしたことにより、自立し成長することができ、このような経験を社会人になる前に出来たことはとても重要だと伝えた。そして温かく見守り、就職先を自由に選ばせてもらい、多様な経験をする機会を与えてくれた親への感謝を忘れずに残された学生生活を悔いの残らないように過ごし、親孝行をしていくと締めくくった。

岡山会場



経済学部4年 仙石 彩織 さん

今までの学生生活は、部活動に全力を注いできた人生だったが、自分の将来を決める分岐点になった就職活動では、自分自身を振り返り、成長させることができた。

6歳から続けてきた剣道というものを最大の強みとして、企業の方々に自分自身を売ることができた。私は、資格も取っているわけもなく、留学経験もない中、長年してきた剣道だけが唯一自信をもってアピールできるものだった。

また、部活動をしていたこともあり、就職活動自体何を取り組めばいいのか分からず上に、周りの友人は夏のインターンなど参加していく周囲との比較から不安が募っていく一方だった。自分はまだ自己分析すらしていない、行きたい企業も絞っていない、何から手を付けたらいいのか分からぬという状況に追いやられていた。だが、3年生の春からSPIの基礎・発展・応用編までじっくり準備を行い、就職課に何度も足を運び何度も添削してもらった。自分のことは自分が一番よく分かっているはずだと思っていたが、他己分析をしていく中で新たな自分を見出すことができた。自分自身を理解し、それを文章におこすまでに大変な時間がかかったが、早め早めに対処していくことが大事だと感じた。そして自分自身が生きてきた20年間を振り返ることができた。

就職活動を終えて、部活とバイトの両立が大変だった。しかし、焦らず早い段階での面接練習やSPIなどの取り組みをするべきだと感じたと同時に、後輩たちにも前もって行動することの大切さを伝えたい。また、就職活動で必要なのが休息を取ることだと感じた。息が詰まつたら、少しの休憩も大切だと思う。時には、就職活動を忘れ友達と遊ぶことでまた頑張ろうと活力になると思う。やるときはやり、休むときはしっかり休み、ON・OFFのメリハリをつけることが大切だと思うと伝えた。

高松会場



経営学部4年 山内 美穂 さん

高校から勉強していた簿記を大学でも学びたいと思い大阪経済大学に入学した。

そのため、将来は簿記を生かせる職業に就きたいと考え、金融業界や会計職に興味を持ち始め、3回生の時期に信用金庫のインターンシップに参加した。

その際、業務内容や働いている方のお話を聞き、金融業界は簿記を活かせるだけでなく「たくさんの人と関わり、人のサポートができる仕事」という自分の就活の軸に合っていると感じ、志望度が一気に高くなった。

そこから就職活動に不安もあったため学内セミナーへの参加や、自己分析、周囲の人に協力してもらいたい他己分析を行うなど、就職活動解禁となる3月に向けて準備を進めた。また、地元に帰りたいという思いが強かったため、学内・学外を問わずUターン支援をしているセミナーへの積極的な参加や、大規模な就活支援プログラムである「大樟塾」に入塾し、講義や面接練習等を行った。

活動中は思うようにいかなかったり、周りの友人が内定を得ていることで焦りやつらいことも多かったが、両親からの「しんどくなったらいつでも帰ってきて」という言葉に励まされた。また、就職課へ何回も足を運び、その度にとても親身に相談にのっていただけたこともとてもありがたかったと語った。

最終的には希望の業界である大阪の金融機関から内定を頂き、無事就職活動を終えることができた。活動中はしんどいことが多かったが、自分と向き合い、深く悩み、たくさんの人や会社と出会うことができる貴重な時間になったと思う。また、自分が多くの人に支えられていることを改めて感じる期間でもあったと振り返った。様々な人のサポートのおかげで就職活動を乗り越えることができた経験から、就職活動は両親、友人、就職課など周囲の協力も得て1人で抱え込まないことで、保護者の方には、活動中は自分に自信がなくなることもあると思うので、是非お子さんに自信をつけてあげてほしいと参加者に伝えた。

岡山会場



経済学部4年 松永 崇 さん

私は大学生活で様々なことを学んだ。

下宿では学生寮に入り、規則正しい生活を送ることができた。部活ではボランティア部に所属し、お年寄りや子供たちと交流する中で人のことを考えて行動することや様々な年代の人たちとの接し方を学ぶことができた。アルバイトでは下宿相談を行い、新たに入学する後輩に私自身の大学生活で学んだことを話し大学生活の不安を解消してもらえるように努めた。就職活動では、自己分析を通して本当に私が

向いている職種を見つけた。またインターンシップにも積極的に参加し、企業に対する理解を深めた。私は海外ボランティアに参加した経験があり、東南アジアを訪れた。そこでインフラ整備に興味を持ちその業界へ進みたいと考えるようになった。そして地元で活躍したいという気持ちもあったため地元でインフラ整備に携わる企業へ就職することを決めた。就職活動を行う上で事前の準備がとても重要であると感じた。しっかりと準備することで自分が本当に就きたい仕事が明確になり、モチベーションの向上にもつながる。

事前準備で私が特に重要な点は2点ある。1点目に情報を探すことである。その中で大学内の就職支援はとても役に立った。学内で行われる就職セミナーに参加し、地方就職の情報を手に入れることができた。2点目に自己分析や面接対策である。就職課へは何度も足を運び面接やエントリーシートについての相談に乗ってもらつた。また友達にも面接練習に付き合つてもらい自信をもって就職活動に臨むことができた。就職活動を通してとても成長出来たと思う。私の思った通りには進まず、途中で投げ出してしまったこともあった。しかしそこを乗り越えると喜びや達成感を感じることができた。

最後に就職活動をして一番思つたことは周りの助けがとても大切だということだ。周りの助けがあるとやる気が出る。また不安が解消されると締めくくった。

2019年度 就職ガイダンス・支援行事等計画

- 7月**
- SPI模擬試験
 - 大樟塾早期プログラム
 - 夏期インターンシップ直前対策
 - 学内単独企業説明会兼選考会

- 9月**
- ゼミ別就職ガイダンス(秋学期)
 - 大樟塾早期プログラム
 - インターンシップ報告会

10月

- ゼミ未所属者対象就職ガイダンス(秋学期)
- 大樟塾スタートアップ講座①
- 外国人留学生対象就職ガイダンス
- 障がい学生対象就職ガイダンス
- ビジネスマナー講座①
- 女子のための就職ガイダンス
- 大樟塾スタートアップ講座②
- グループディスカッション対策講座①

11月

- 外国人留学生対象就職ガイダンス
- 障がい学生対象就職ガイダンス
- ビジネスマナー講座①
- 女子のための就職ガイダンス
- 大樟塾スタートアップ講座②
- グループディスカッション対策講座①

12月

- 職種理解ガイダンス
- 業界セミナー(～12月)
- グループディスカッション対策講座②
- U-Iターンセミナー
- 大樟塾【合宿】①
- 企業研究(企業の見極め方)①
- 内定者座談会
- 社会で働く卒業生との座談会
- 面接対策講座

1月

- 企業研究(企業情報を読み解く)②
- ビジネスマナー講座②
- 大樟塾【合宿】②
- 実践面接トレーニング
- 体育会限定期業界・企業理解セミナー
- 第一回 学内業界・企業理解セミナー(～3月)
- 春季会セミナー
- 4年生対象学内合同企業説明会



本学では「ZEMI-1グランプリ」というゼミ対抗のプレゼンテーション大会を開催しています。出場する学生たちではなく、裏方として大会運営を支える実行委員の学生たちも頑張っています。第10回目となる今年度は以下の日程で開催致しますので、是非ご覧ください。また、詳細は決まり次第、随時更新しますので、WEBページをご確認ください。

1st STAGE 2019年10月19日(土)
2nd・Final STAGE 2019年10月26日(土)

